

「山口英先生とともにMSA研究を支援する会」へのご協力をお願い

奈良先端科学技術大学院大学教授 山口英先生におかれましては、神経変性疾患の難病である多系統萎縮症(Multiple System Atrophy; MSA)に罹患され、懸命な闘病生活の末、平成28年5月9日に永眠されました。

このMSAの発病機構については特徴とされる封入体や遺伝要因を手がかりに研究が進められてはいるものの未だ十分に解明されておらず、また、MSAに対する効果的な治療方法も確立されていない状況にあり、全国で11,000名を超える患者が一刻も早い治療法の確立を切望されている状況にあります。

近年、MSAの治療法開発としてiPS細胞を用いることなどが考えられております。山口先生も生前、「このような先駆的医療開発がMSAを罹患する多くの方々の助けになる」と大きな期待を寄せておられました。先駆的医療の開発には多額の資金が必要となりますが、多くの方々からのご寄附によるMSA研究支援体制を整えるため、山口先生の遺志を継ぐ形で本会を創設致しました。本会を通じた支援により、iPS細胞技術等を応用したMSA病因機構の解明が進展すれば、MSAを罹患する方々への励まし・救済に非常に役立つと考えております。

皆様方には、この趣旨をご理解のうえご賛同いただき、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

発起人代表

大阪大学名誉教授、元総長 宮原 秀夫
奈良先端科学技術大学院大学 学長 小笠原 直毅

事務局・問合せ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-5
大阪大学大学院情報科学研究科 尾上 孝雄
Phone: 06-6879-4500, Fax: 06-6879-4567
suguru-msa [at] ist.osaka-u.ac.jp

山口英先生とともに MSA 研究を支援する会 発起人一覧

代表：

宮原 秀夫 (大阪大学 名誉教授、元総長)

副代表：

小笠原 直毅 (奈良先端科学技術大学院大学 学長)

事務局長：

尾上 孝雄 (大阪大学 教授、情報科学研究科長)

発起人：

尾家 祐二 (九州工業大学 学長)

小笠原 司 (奈良先端科学技術大学院大学 教授、情報科学研究科長)

下條 真司 (大阪大学 教授、サイバーメディアセンター長)

白川 功 (大阪大学 名誉教授)

鳥居 宏次 (奈良先端科学技術大学院大学 元学長)

西尾 章治郎 (大阪大学 総長)

藤川 和利 (奈良先端科学技術大学院大学 教授)

村田 正幸 (大阪大学 教授)

横矢 直和 (奈良先端科学技術大学院大学 理事・副学長)